

式 辞

草木が芽吹き、花開く季節を迎えた今日の佳き日に、御来賓の皆様の御臨席と保護者の皆様の御列席を賜り、令和七年度愛媛県立南宇和高等学校入学式が挙行できますことは、在校生並びに教職員一同大きな喜びであります。学校を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可しました八十六名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を心から歓迎します。また、これまでずっとお子様を温かく支えてこられた保護者の皆様、お子様の御入学、誠におめでとうございます。

本校は、今年度創立百十八年目を迎える県内屈指の伝統校です。校長室には、新渡戸稲造揮毫の「本立ちて道生ず」という論語の教えが掲げられています。

「本立ちて道生ず」とは、「根本さえ把握すると、道はおのずからひらけて行くもの」という意味です。基礎基本を大切にし、様々な活動に熱心に取り組み、地元から深く愛されながら、地域と共に伸びる学校を目指して、日々新たな歩みを刻んでいます。皆さんも、自信と誇りを持って、ここで学んでください。

さて、今まさに、大きな希望と若干の不安を胸に、高校生活を始める皆さんに、学校とはどういうところなのか、改めてお伝えします。

学校は、学び合う場です。教科の勉強はもちろんですが、それ以外にも様々なことを、教職員から、また生徒同士で、さらには地域の方々をはじめとしたたくさんの魅力ある大人たちから学ぶことができます。まずは、好奇心旺盛であること、そして、謙虚であること。世の中は学ぶべきものであふれていることを知っている人、また、自分には足りないものがあることを自覚している人は、学ぶチャンスをつかみ、成長することができます。

また、学校は、認め合う場です。認め合うとは、決してぬるま湯のような関係であるということではありません。それぞれ個性を持った人たちが、互いに切磋琢磨し、高め合う関係を目指したいものです。皆さんが他者から尊重されるために、皆さん自身が他者を尊重することから始めましょう。互いに認めつつ、レベルの高い居心地の良さを感じられる集団になりましょう。

保護者の皆様に申し上げます。私たち教職員は、皆様の期待と信頼に応えるべく、生徒の限らない可能性を信じ、有意義な学校生活が送れるよう全力で教育に取り組めます。どうぞ、本校の教育活動に御理解を賜り、御支援・御協力をいただきますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、御多用の中、御臨席いただきました皆様に、重ねて感謝を申し上げますとともに、本日入学する皆さんが共に南高で過ごす毎日が、それぞれの個性や才能を存分に伸ばし、ひとまわり大きな人間へと成長させる日々となることを祈念して、式辞といたします。

令和七年四月八日

愛媛県立南宇和高等学校長 清水 幸一